INTERNAL
explore the new level

初心者のための SEO ガイド

完全 SEO 対策マニュアル

■著作権について

本冊子と表記は、著作権法で保護されている著作物です。

本冊子の著作権は、発行者にあります。

本冊子の使用に関しましては、以下の点にご注意ください。

■使用許諾契約書

本契約は、本冊子を入手した個人・法人(以下、甲と称す)と発行者(以下、乙と称す)との間で合意した契約です。本冊子を甲が受け取り開封することにより、甲はこの契約に同意したことになります。

第１条 本契約の目的：

乙が著作権を有する本冊子に含まれる情報を、本契約に基づき甲が非独占的に使用する権利を承諾するものです。

第２条 禁止事項：

本冊子に含まれる情報は、著作権法によって保護されています。甲は本冊子から得た情報を、乙の書面による事前許可を得ずして出版・講演活動および電子メディアによる配信等により一般公開することを禁じます。特に当ファイルを 第三者に渡すことは厳しく禁じます。甲は、自らの事業、所属する会社および関連組織においてのみ本冊子に含まれる情報を使用できるものとします。

第３条 損害賠償：

甲が本契約の第２条に違反し、乙に損害が生じた場合、甲は乙に対し、違約金が発生する場合がございますのでご注意ください。

第４条 契約の解除：

甲が本契約に違反したと乙が判断した場合には、乙は使用許諾契約書を解除することができるものとします。

第５条 責任の範囲：

本冊子の情報の使用の一切の責任は甲にあり、この情報を使って損害が生じたとしても一切の責任を負いません。

はじめに

このマニュアルは、アフィリエイトとは切っても切り離せないSEOについて、
SEO初心者の方用のマニュアルです。

「アフィリエイトで稼ぎたいけど、SEOって難しそう・・・」
「狙ったキーワードでガンガン検索順位を上げたい・・・」

という方は、まずこのマニュアルを参考にしていただければ幸いです！

目 次

１章　なぜ稼ぐためには SEO が必要なのか？

２章　初心者でも絶対にやっておきたい SEO 対策

３章　稼ぐアフィリエイターの常識！ライバルに打ち勝つための SEO 対策

弊社関連商品のご紹介

1章　なぜ稼ぐためにはＳＥＯが必要なのか？

アフィエイトやブログをやっている方であれば
SEOという言葉は聞いたことくらいはあると思います。

同時に
「SEOってなんか難しそう・・・」
というような言葉からのイメージもあると思います。

本章では、SEOの基本知識と
なぜSEOがアフィリエイトで稼ぐために必要なのか
ということをご説明します。

１．SEO とは

まず SEO とは何か、についてご説明します。

SEO とは、Search Engine Optimization の略称で、
検索エンジン（Yahoo や Google など）の検索結果の
表示順の上位に自分のサイトが表示されるようにするための
手法やサービスのことです。

■ヤフー

■グーグル

SEO 対策は
「検索エンジン最適化」とも訳されています。

検索エンジンは登録されているサイトを
検索キーワードに応じて表示しますが、
検索結果の表示順位はそれぞれの検索エンジンが
持つ法則にしたがって決められます。

自分のサイトが検索結果の上位に表示されると、
サイトを閲覧してくれる人の数も当然、多くなります。

検索エンジンによる順位決定のアルゴリズムは
頻繁に変更されるため、その度に順位が変動することがあります。

よって、SEO に絶対的な手法というものは存在しませんが、
ある程度の王道的な手法というものが存在します。

これを実践している人とそうでない人では
サイトの検索順位に大きく差が出てしまうというのが現実です。

２．なぜアフィリエイトで稼ぐためにＳＥＯが必要なのか？

アフィリエイトを行なう際に、
自分のサイトにアフィリエイト広告を設置し
そこから購入した人、あるいはクリックした人の数に応じて
アフィリエイト報酬が発生しますよね。

もし、あるキーワードで検索した際に、
自分のサイトが検索結果の４０ページ、５０ページに
表示されていたとすると、果たしてサイトを訪れる人は
どのくらい居るでしょうか？

結論から言うと、ほとんど居ません。

一般的に、検索エンジンにキーワードを入力して検索した場合、
その人が見るのは精々「３ページ目」の半ばくらいまでだそうです。

そして、１ページに表示されているサイトと、
それ以降のサイトではPV数(サイトを訪れる人の数)に
雲泥の差が出てしまうとも言われています。

Pv 数が少ないと、
その分アフィリエイト報酬も少なくなります。

ですのでアフィリエイトで稼ぐためには、
自分のサイトを１ページ目に表示できるかどうかが重要となり、
そのためには SEO 対策による自サイトの上位表示
ということが必要不可欠となるのです。

2章　初心者でも絶対にやっておきたいSEO対策

SEOにもいくつかのレベルがあります。

稼ぎやすい人気のキーワードや、
検索回数の多いキーワードであればあるほど、
競合が多くなるため
より高いレベルのSEO対策が必要になります。

ですが本章では、
まずSEO初心者の方が絶対にやっておきたいSEO対策を
ご紹介します。

１．検索キーワードの狙い方

アフィリエイト広告を設置するサイトについて、
検索キーワードというものを設定します。

ここで設定した検索キーワードで検索されたときに、自分のサイトが
上位表示されるかどうかがアフィリエイト成功の鍵を握っていると
言っても過言ではありません。

狙うキーワードを設定する上で知っておかなければならないのが、
以下の２点です。

■検索ボリューム：

　指定したキーワードで、期間内にどれくらい検索されているか

■競合性：

　指定したキーワードを狙っているライバルの数

この２つを調査するにあたって

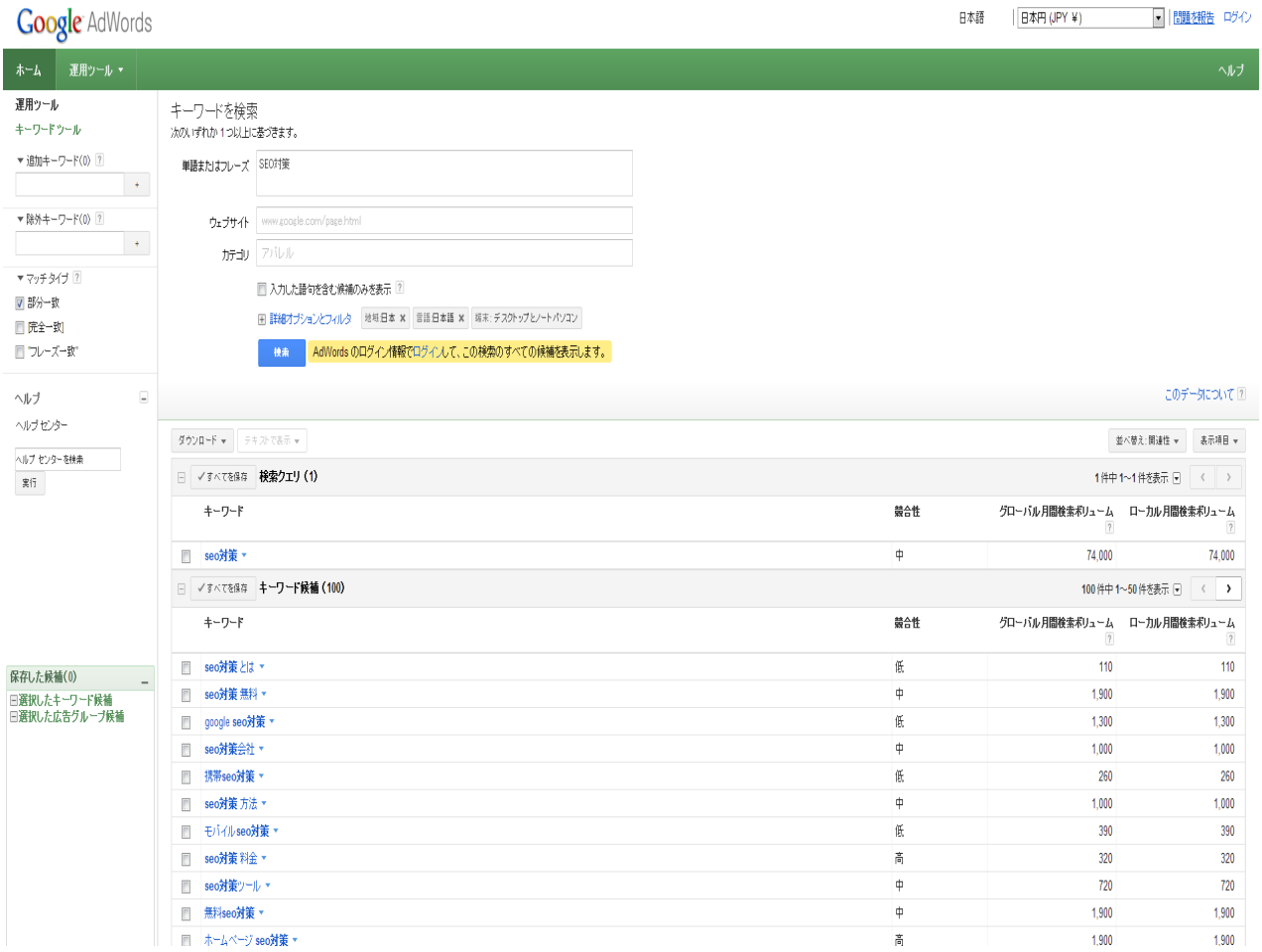
初心者の方でも絶対に知っておくべきツールを紹介します。

「Google AdWords」というサイトの

「キーワードツール」という WEB ツールがありますので、

こちらは絶対に活用していってください。

■キーワードツール



このキーワードツールは
公式にグーグルが提供しているもので、
キーワードごとに月間の検索回数や
関連キーワード、競合の状態などがわかる、というものです。

基本的には、検索ボリュームが小さく競合性が低いキーワードほど
上位表示しやすいですので、
初心者の方はまず GoogleAdWords のキーワードツールを利用して
あまり検索ボリュームが多すぎないキーワードのなかから
売れそうなものを探していくと良いでしょう。

少し具体的にいうと、
月間検索ボリュームが 1000 回を超えているものに関しては、
それなりに SEO 対策をする必要があると思ってください。

２．サイトを立ち上げたときに注意すること

自分のアフィリエイトサイトを立ち上げた際に
注意すべきことがあります。

まず、サイトの主要テーマと検索キーワードの関連性です。

設定した検索キーワードにたいして、
サイトのテーマが全く別のものになってしまうと
せっかくサイトを訪れた人がすぐにサイトを離れて行ってしまいます。

グーグルというのは、
その人のサイトやページの質、価値を評価する際に
ユーザーのページ滞在時間や直帰率も見ているといわれています。

なので、なるべくユーザーをすぐに帰らせないような
記事、コンテンツ作りを意識する必要があります。

多くのブログで
トップにまず画像や動画を貼っているのは
少しでもユーザーの滞在時間や PV 数を延ばすためです。

※直帰率とは
あなたのブログを訪れた人が、
最初に見た記事以外の記事も一緒に読んでくれるか、
読まずにそのまま帰ってしまうか、の割合が直帰率です。

直帰率が低くなるのを防ぐためには
後述しますが、
「この記事を読んでいる人は、他にこんな記事を読んでいます」
というようなサジェストを
記事の最後に入れるといいです。

これは、このようなことが可能なプラグインが
たくさんありますので、入れてみてください。

少し話が反れましたが、
検索キーワードと関連性の高いサイトテーマでサイトを運営する
ということは非常に重要にです。

例えば、
「３０代主婦の日記」というブログを作って

ある日はお勧めの化粧品、
ある日はお勧めの料理器具
ある日はお勧めの本や漫画

を紹介していたのでは、
SEO 上も非常に弱い、ということになります。

必ずタイトルに、狙っているキーワードを入れて、

「これは一体何のブログなのか」
「何について説明・アフィリエイトしたいブログなのか」

がグーグルにも、視聴者にもわかるようにしましょう。

■meta タグの重要性

また、サイト立ち上げ時に head タグ内に SEO 効果のある
meta タグを設定しておきましょう。

サイトやブログの管理画面から、
HTML の編集等で設定することができます。

検索エンジンがこの meta タグの内容を判断材料にしているため、
設定しておいたほうがいいです。

※WordPress の場合は、「Add Meta Tags」という
プラグインを使うと便利です。

■Meta keywords タグ：

検索キーワードを設定します

<meta name=”keywords” content=”キーワード”>

例）

<meta name="keywords" content="SEO 対策">

■ディスクリプションの設定

meta キーワードと一緒にぜひやっておいたほうがいいのが、
ディスクリプションの設定です。

ディスクリプションという項目に、あらかじめ
「これはどういうブログなのか」
「何について説明したサイトなのか」
という文章を登録しておくと、

検索エンジンでお客様が検索したときに
タイトルの下にその文章を表示させることができます。

ーディスクリプションの画像

もし、このディスクリプションを設定していないと
最新記事の内容が、変わりに適当に表示されます。

そういった文章は、変に途中で切れてしまっていたり、
本来、伝えたいサイトの内容と全く関係のない文章になったりして、
ユーザーにクリックされにくくなります。

せっかく上位表示できても、クリックしてもらえないと
意味ないですよね。
なので、なるべく面倒がらずに設定しておくといいと思います。

■Meta description タグ：

検索キーワードを盛り込んだサイトの説明文を設定します。
５０～６０文字程度の説明文を記述しましょう。
<meta name=”description” content=”説明文”>

例）
<meta name="description" content="このサイトでは、SEO 対策についてご紹介します。SEO 対策のやり方やツールなどをご紹介していきますので、良かったら参考にしていってください。">

３．記事の書き方

SEO 対策を考える上では、
記事の書き方というのも非常に重要なポイントです。

SEO 対策のポイントを押さえながら記事を書くのと、
全く何も考えずに書きたいように書くのとでは、
大きな違いがあります。

ここでは、
記事を書く際に注意すべきポイントを
いくつか紹介します。

■title タグ内でのキーワード使用

title タグはサイトのタイトルとなります。

検索エンジンは title タグ内の文字を
検索順位の判断材料にしているので、
title タグ内には絶対に検索キーワードを盛り込んだタイトルを
設定しましょう。

このサイト名というのは特に重要で、
サイトタイトルにキーワードを入れているだけで
同じ内容の、もっとしっかり作りこまれたサイトの記事よりも
簡単に上位表示されることはよくあります。

逆にいえば、
ここは最低限、ライバルも絶対にやっていることなので
「知らなかった」ということだけはないようにしましょう。

※ただし、キーワードはあくまでも自然な形で盛り込み、サイトを訪れたくなるような魅力的なタイトルにする必要があります。

■h1 タグ内でのキーワードの使用

title タグと並んで重要となるのが h1 タグです。

本文の見出しに位置づけられていますが、
これも title タグ同様にキーワードを盛り込んだ見出しを
設定しましょう。

■内部リンクと外部リンクの違い

ここから先を読むにあたって
絶対に知っておかなければならないことがあります。

それが「内部リンク」と「外部リンク」の違いです。

まず、外部リンクとは
自分のサイトから、他人のサイトに対して
リンクを貼ること（または貼られること）をいいます。

例えば、私のサイトから
「お勧めの本はこちら」と、
Amazon の本の購入ページへのリンクを貼れば、
それは外部リンクです。

一方、内部リンクとは
自分のブログ、サイト内で
記事から記事、トップページから個別記事、などに
貼られたリンクのことをいいます。

例えば、
「トップに戻る」
「最新記事はこちら」
「前回の記事」

などは全て内部リンクになります。

■内部リンクの重要性

自分のサイトに記事を足していくと、
記事間でのリンクのやりとりも検索エンジンに評価されます。

前回の記事へのリンクや、特定の話題の記事へのリンクなど、
自然な形でなるべくたくさんの内部リンクを
盛り込むことが重要です。

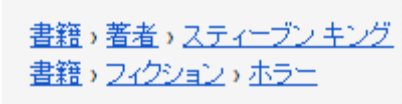
また、「パンくずリスト」の設定を行うことも
かなり効果があります。

パンくずリストとはWEBサイト内におけるWEBページの位置を
わかりやすくリンクの一覧として示した
サイトマップのような役割のものです。

このパンくずリストにもたくさんの内部リンクが貼られ、
かつ検索エンジンに対して階層やリンク構造を
明確に伝える、という効果があります。

パンくずリストは、以下のように記述されます。
『トップページ> 2月のアーカイブ>SEO対策のコツ』

例）



さらに、サイドバーのウィジェットに最新の記事、

アーカイブ等を設置することで、

内部リンク数を増やすことができるので、

是非とも設定しておきましょう。

■本文でのキーワード含有率

本文における検索キーワードの使用率です。

これは昔はかなり効果的だったといわれており、
本文に狙ったキーワードを詰め込みまくるだけでも
簡単に上位表示できた時代もありました。

現在は、このように不自然にキーワードを詰め込むのは、
「キーワードスタッフィング」というスパムの一種と捕らえられ
逆効果になります。

ただし、自然な範囲でキーワードをたくさん入れることは
検索エンジンに、「どういう内容のサイトか」を判断してもらう上で
今でも非常に重要な要素の１つですので、
日本語としておかしんくない自然な形で
検索キーワードを盛り込んでください。

本文の文字数に対して、
５～7%程度のキーワード含有率が良いとされています。

キーワード含有率を調べることができるサイトをご紹介しておき
ますので、参考にしてください。

■URL直入力（1）

解析対象	http://www.xn--o9j0bk7w6b3g8b4cu421b.com/
タイトル要素	二チャンネルまとめサイトを10秒で大量に作るありえない方法 |
meta keywords	二チャンネルまとめ
meta description	二チャンネルまとめサイトで稼ぐなら、まずは大量にサイトを作っておき、調子がいい二チャンネルまとめサイトをメインにして運営していくのが効率的です。二チャンネルまとめサイトを大量生産する方法・その後の運営方法を載せていきます。
出現頻度（全体） 【単語数：1,309】	1. まとめ 86 6.6% 2. サイト 78 6.0% 3. 二 70 5.3% 3. チャンネル 70 5.3% 5. です 26 2.0% 6. た 23 1.8% 7. ます 19 1.5% 7. 秒 19 1.5% 7. 投稿 19 1.5% 10. CH 17 1.3% 10. ビルダー 17 1.3% 12. 大量 14 1.1% 12. 方法 14 1.1% 12. ない 14 1.1% 12. 数 14 1.1% 16. いる 13 1.0% 17. 記事 12 0.9% 17. 更新 12 0.9% 19. アクセス 11 0.8% 20. する 10 0.8% 20. アフィリエイト 10 0.8% 22. から 9 0.7% 22. 日 9 0.7% 22. ツール 9 0.7% 25. でき 8 0.6%

・キーワード解析

http://www.keyword-kaiseki.jp/

■サイト開設からの経過時間

検索エンジンは、
サイトを開設してからの経過時間も
検索順位の判断材料としています。

経過時間が長いサイトは、
検索エンジンから評価されやすいようです。

ここでサイト作成初期におこりやすいとされる
２つの現象についてお話します。

これら２つの現象を頭に入れておくと
検索順位の変動に一喜一憂する必要がなくなりますので
ぜひ覚えておいてください。

１．Googleハネムーン

サイト作成の初期段階では、
「Googleハネムーン」という現象が発生する可能性が
あることを頭に入れておきましょう。

Googleハネムーンとは新規サイトを作った直後に
すぐに簡単に上位表示されてしまう現象のことをいいます。

例えば新しく作ったばかりのサイトが
まだ記事もあまり入っていないのに
なぜかいきなり１～２ページ目に表示されてしまう、
といった現象です。

基本的に、Googleハネムーンの後には
大きく順位が落ちることが多いですが、
これはサイトが飛ばされた、スパム判定された、というよりは
本来の正しい順位に戻っただけ、ということが多いです。

２．エイジングフィルター

また、Googleハネムーンとは間逆の
「エイジングフィルター」という現象があることも
頭に入れておきましょう。

エイジングフィルターとは、
新規取得ドメインなど、作成直後のサイトが
上位表示されにくい現象のことを言います。

新規作成直後のサイトというのは、
検索エンジンのクローラーがあまり
巡廻していないため、上位表示されにくい傾向があります。

対策としては、ブックマークやブログランキング登録で活性なサイトからリンクを貰うということが挙げられます。

サイト経過時間の観点から見た場合、
一般的に新規ドメインサイトは開設から３ヶ月間は
Googleハネムーンや、エイジングフィルターによって
正等に評価されない傾向があるため、我慢の期間だと言えます。

よって、３ヶ月間は、順位の変動に一喜一憂せずに
やるべきSEO対策や、記事更新を淡々とこなすことが重要です。

■関連性の高い外部サイトへのリンク

関連性の高い外部サイトへのリンクを貼っていることも、検索エンジンの評価対象となるようです。

■本文の文字数とキーワードの関連性

文字数の多いサイトは検索エンジンに評価されやすいです。
最低でも 400 文字以上の記事を書きましょう。

ただし、コピペの記事では意味がないです。
グーグルは最近、かなりの精度でクローンコンテンツ、
コピーコンテンツを探せるようになってきています。

まるまるどこかからパクってきた記事を
リライト（書き直し）せずにアップする、といったことは
逆にサイトの価値を下げますのでやめましょう。

どうしても理由があって
ある程度の文字量を引用したい場合は、
引用タグ（クオートタグ）というのを文中で使うようにしてください。

この引用タグで囲まれている部分は、
グーグルは「引用だ」と判断するため、
文字量やテキストとして評価はされない代わりに
ペナルティを受けることもなくなります。

４．記事数

記事数の多いサイトは検索エンジンに評価されます。
何だかんだいって、長期的にみてグーグルのアルゴリズム変動に
左右されずに順位が安定しやすいのは、

「しっかりたくさんの記事が入ったブログやサイト」
「コンテンツ量の多いブログやサイト」

です。

また、たくさん記事が入ったサイトというのは、
回りのアフィリエイターも、簡単に真似したりできませんから
ちゃんとした「参入障壁」になります。

「継続は力なり」という言葉があるように
長く、自分の作ったブログを「資産」として持ち続けたいのであれば
ある程度の記事数、コンテンツ量をしっかり入れていくほうが
グーグルの評価は間違いなく高いです。

※もちろん、インデックスされないような記事を
量産しても意味がないですので、念のため。

※インデックスとは、検索エンジンにページが登録されることで、
インデックスされていないページは、
検索エンジンから見ると存在しないものと同様です。

５．被リンク

被リンクとは、他のサイトが貼っている
自分のサイトへのリンクのことで、外部リンクの一種です。

この被リンクが多ければ多いほど、
グーグルは

「たくさんのサイトに紹介されているサイトは、
優良なサイトに違いない」

という判断で、リンクを貰っているサイトを
価値が高いと判断します。

基本的には、たくさんのリンクを貰っていればいるほど
検索順位は上がりますので、
この被リンクは SEO 対策の中でも
かなり重要な要素だといえます。

また、自分のサイトに
被リンクを送っているサイトの評価も重要です。

特に検索エンジンから高い評価を受けているサイトからの被リンクは、
自分のサイトにとって SEO 的にかなり有利となります。

この被リンクについては、
自分が作った無料ブログなどから貼っても効果があるので
複数の無料ブログを運営している人であれば、
「メインのアフィリエイトサイトに被リンクを送る」
といった手法も効果的です。

■被リンクのアンカーテキストの重要性

被リンクを送るときに非常に重要なのが
「何という言葉でリンクを送るか」という部分です。

このリンクを送る際の言葉、文字、文章を
アンカーテキストといいます。

例えば、自分のサイトに設定した上位表示させたいキーワードを
アンカーテキストとして被リンクを送ってもらうと、
そのキーワードでのSEO効果が高まります。

例）ダイエット　ブログ　で順位を上げたい場合

○　ダイエットブログの方法

×　ダイエットブログはこちら

※この場合、「ダイエットブログ」を踏んだときに
リンク先のページに飛ぶように設定します。

ただし、常に同じアンカーテキストでリンクが貼られていると
検索エンジンから不自然と判断され、
ペナルティを受ける可能性があります。

なので、自分で被リンク用サイトなどを作り
被リンクを送る際には、
アンカーテキストを適度に分散させるということも考える必要があります。

適度にアンカーテキストを分散させる割合は

・５割が狙ってるワード、
・３割が狙ってるワードに近いワード
・残り２割が全く関係のないワード、

が経験上、ベストです。

例）
５割　ダイエット　ブログ
３割　ダイエットのブログ、ダイエットサイト、、
２割　おすすめ、こちら

■サイトをチェックできる無料ツール

被リンク数などのサイト情報を分析することができるサイトとして、
「SEO チェキ!」や「OPEN SITE EXPLORER」というサイトがありますので、
こちらも活用すると良いでしょう。

■SEO チェキ!

中古ドメイン取得時のドメイン調査や
ライバルサイトの調査に利用すると良いでしょう。

※中古ドメインについては別途、後述しますので
今は読み飛ばしてください。

・インデックス数の確認
・被リンク数の確認
・ページランクの確認、
・サーバーの確認

なうことができるので、
ライバルサイトのインデックス数や、被リンク元を見て
自分のサイトが勝てるかどうか、の判断材料を得ることができます。

※最初は少し難しく感じるかもしれませんが、
なんとなく勝てそうだ、負けそうだ、というレベルで大丈夫です。

また、サーバー情報まで見れるので
Ip 分散されているかどうかがわかったりします。

例えば、仮にライバルサイトが
国内分散サーバーを使っているとすると、
SEO にお金を掛けていることがわかるため、
競合”強”だということが判断できます。

※IP 分散サーバーについては後述します。

－SEO チェキ

http://seocheki.net/

■ OPEN SITE EXPLORER

OPEN SITE EXPLORER は、
特定のサイトについて、
「どんなサイトから被リンクを受けているか」
を見ることができるツールです。

被リンクの数だけでなく、
実際にどんなページランクの、どんな内容の、どんなサイトから
どんなアンカーテキストでリンクを貰っているかが
わかりますので、
アフィリエイターは、ほぼ絶対に使っている必須ツールです。

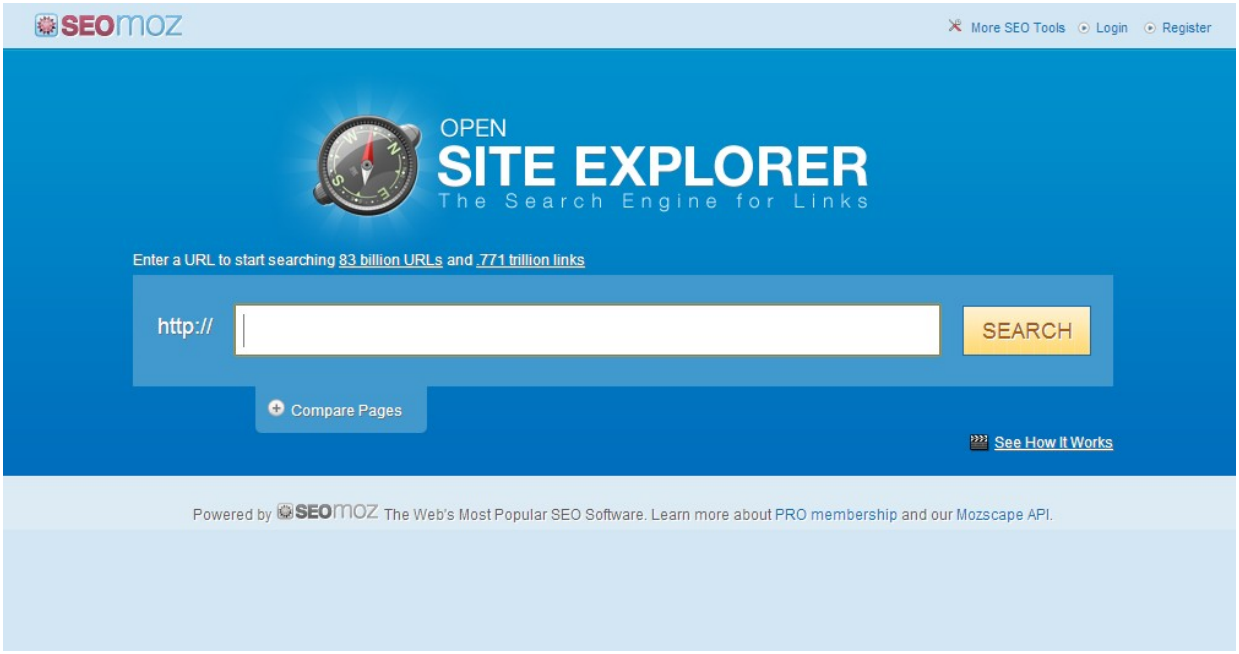
ライバルサイトの調査や、
自分のサイトの被リンク元のインデックス確認を行なうときなどに
利用するようにしましょう。

また、中古ドメインサイトの調査にも利用すると良いでしょう。

※中古ドメインサイトについては後述します。

— Open Site Explorer

http://www.opensiteexplorer.org/



６．ソーシャルブックマーク

ソーシャルブックマークとは、
ネット上で公開・共有される WEB サイトのブックマークのことです。

このソーシャルブックマークには
被リンク効果があると同時に
ソーシャルブックマーク自体からのアクセスも期待できるので
是非とも利用したいサービスです。

ソーシャルブックマークについては、
各ブックマークサービスへのアカウント登録が必要となります。

また、同一のブックマークアカウントにて
同じサイトの URL をブックマークしても
あまり効果がないとされています。

７．外部リンクの貼りすぎに注意

前述で自分のメインとなる運営ブログに対して、
自分の他のサブブログからリンクを送る（被リンク）
というのが、SEO 上効果的だ、というお話をしました。

ですが、外部サイトへのリンクの貼りすぎは
グーグルからのサイトへの評価を低下させますので
注意してください。

■リンクジュースの概念

リンクジュースとは、外部の Web サイトへのバックリンクによって
自分の Web サイトに与える影響の概念のことです。

例えば、仮にサイトの品質・評価が 100 という数字だとすると
そのサイトから、他のサイトに 1 つしかリンクを送っていない場合、
その 100 のパワー（価値）がそのまま
そのサイトに全て注がれます。

しかし、100 の価値をもっているサイトが
100 のサイトに被リンクを送ってしまうと、
それぞれのリンクの価値・効果は”１”にまで下がってしまいます。

このことも考慮に入れて、
外部サイトへリンクを貼ったり、
メインブログへ被リンクを送りましょう。

また、全く意味のないサイトへのリンクは
リンクジュースを無駄にしてしまうことになりますので、
やめましょう。

例えば、WorePress の無料のブログテンプレートには、
必ずフッターに

“Powered by ○○（テンプレートの作者）”
”Powered by Worepress”(ワードプレスへのリンク)

などが勝手に入ってしまっていますが、
非常に勿体無いので
規約上、削除しても問題ないようであれば、削除しましょう。

また有料のテンプレートであれば
外部リンクが一切入っていないものもありますので
そちらを使う手もあります。

・外部リンクの数

前述のように
外部リンクをたくさん貼れば貼るほど、
１リンクあたりの効力は薄れます。

・リンクを貼る箇所

外部リンクに関して、
TOP ページ等の一定のページからばかり貼っているのも
グーグルからみたら不自然であり、
SEO 観点から見て良くありません。

サブサイトからメイン用ブログに被リンクを送る際は、

ある日は個別記事や投稿記事から、
ある日はサイドバーから
ある日はフッターリンクから、

というように、
被リンクを送る箇所を分散させる工夫が必要です。

※ちなみに、一番 SEO 効果が高いとされているのは
トップページ記事の文中からの外部リンクだといわれています。

トップページのフッターやサイドバーから
リンクを入れるのも効果的だとされています。

※２
なお、サイトに対する評価（ページランク）というのは、
トップページと、個別記事ページとで
実は、価値（ランク）が違います。

トップページのページランクが５でも、
個別記事のページランクは０、ということもよくあります。

（ページランクについては後述しますが、
ここではひとまず、グーグルが点数をつけた
サイトのレベルのことだと思ってください。）

つまり、
トップページから送るほど、被リンクの効果は高くなり、
枝葉ページからの被リンクは、効果が薄くなります。

3章　稼ぐアフィリエイターの常識！
ライバルに打ち勝つためのSEO対策

本章では、SEO初心者の方が
上級アフィリエイターに負けないレベルのSEO対策ができるよう、
SEO上級テクニックをご紹介します。

1．SEO効果の高いドメイン

ドメインとは、例えば
http://www.yahoo.co.jp

であれば、この

yahoo.co.jp

の部分のことです。

ドメインにも実は、
SEO上、効果の高いドメインと低いドメインがあります。

SEO 効果の高いドメインはどのようなものなのか？
ということを、順にご紹介していきます。

まず、ドメインの話をする前に、
必ず理解しておかなければならない

・無料ブログ
・新規ドメインブログ
・中古ドメインブログ

の違いについて説明します。

■無料ブログ

無料ブログとは、
各無料ブログサービスが扱っているサーバーに、
自分のブログを設置して運営していく形態のブログです。

例えば、FC 2ブログであればFC 2のサーバー、
livedoorブログであればLivedoorのサーバーに
自分のブログを置かせてもらうといった感覚です。

無料ブログを使った場合、ドメインはサブドメインとなります。
例）http://www.livedoor.blog/○○○○/

無料ブログの特徴としては

・検索エンジンにインデックスされやすい
・スモールキーワードであれば比較的簡単に上位表示することができる

というメリットがあります。

ですが逆に、

・順位が不安定
・予告なしに削除されるリスクがある

といったデメリットもあります。

特に、FC 2ブログに関しては
「アダルト可」である数少ない無料ブログ、という特性上、
かなりのアクセス数、サーバー負荷が常にかかっており、
あまりにアクセス数が多すぎる場合、
削除される、といったケースもあるようです。

■新規ドメインブログ

新規ドメインブログとは
自分で好きな名前のドメインを購入して、
自分で借りたレンタルサーバーに設置する形態のブログです。

新規ドメインブログであれば、
例えばヤフーであれば
・yahoo.co.jp

グーグルであれば
・google.com

Amazon であれば
・amazon.co.jp

のように好きな名前のドメインを取得することができます。

一般的に、ある程度アクセス数の多いブログや、
安定的に収益を上げているサイトやブログは、
このようにサーバーを借りて
ドメインを設置している場合が多いです。

新規ドメインブログの特徴としては、

・日本語ドメイン(※１)が取得可能
・順位が（無料ブログに比べて）安定しやすい

というメリットがありますが、
逆に無料ブログのように常にサーバーに
クローラーが巡回していないためインデックスが遅く
またエイジングフィルターなどに掛かってしまう

というデメリットもあります。

（※１）日本語ドメイン

日本語ドメインとは
ドメインが日本語になっているものをいいます。

例えばダイエットのブログであれば、

www.diet.com

が普通のドメインなのに対して、

www.ダイエット.com

というのが「日本語ドメイン」になります。

この日本語ドメインが、
現在のところ、かなり SEO 上効果的です。

※上記の例でいえば、
「ダイエット.com」で取得した場合、
「ダイエット」というキーワードで上位表示されやすい、
ということです。

無料ブログでも、Seesaa など一部のブログでは
日本語ドメインが取得できますが、
どうしてもサブドメインになってしまうため
ドメインの威力を発揮させるには新規ドメインがお勧めです。

■豆知識

ちなみに、厳密には「ドメイン名」とは
各国で共通の文字形式ですので
英語と半角数字しか使えません。

では、なぜドメインを日本語にできるのでしょうか。

それには、「ピュニコード」というコードを使って
半角英数字の羅列を日本語に変換しているのです。

例
ダイエット.com

をピュニコードに変換すると、

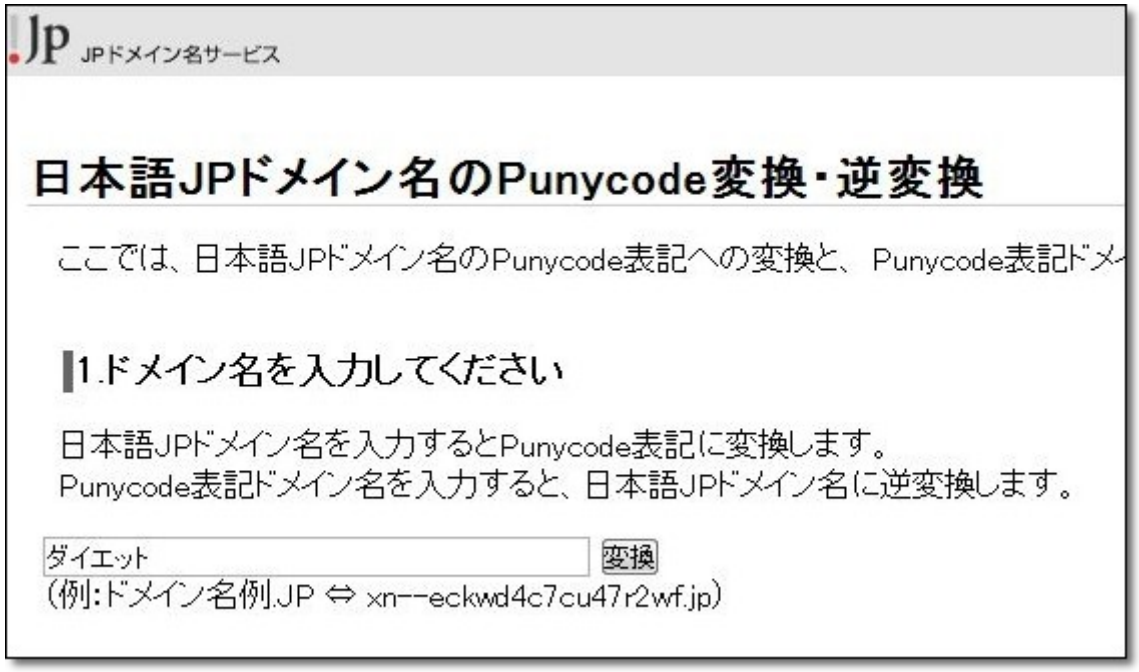
xn--ecki4eoz .com

になります。

検索窓に「ダイエット」と打ち込むと、
グーグルが自動で「xn—ecki4eoz」に変換して
検索をかけているわけです。

このピュニコードに関しては、
後々、ドメインを取得する際などに
必要になってくることがありますので
調べ方を知っておくと便利です。

■ピュニコード変換サイト
http://punycode.jp/



■ドメイン取得サービス

次に、

「じゃあ具体的にドメインってどこで買うの？」

という疑問が湧くかと思いますので、

いくつか有名なサイトを紹介しておきます。

１．ムームードメイン

http://muumuu-domain.com/

2．スタードメイン

http://www.star-domain.jp/

3．お名前.com

http://xn--t8jx73hngb.com/

■ドメインの価格と種類

アフィリエイターに人気の、
比較的安くて効果が高いドメインは
「.net」や「.com」ですが
大体これらは１件 700 円～900 円くらいです。

他にも、ドメインの種類や、
ドメイン取得サービスによっても
値段は違いますので、
比較してみて安いところから購入するといいと思います。

ちなみに、ドメイン取得サービスは頻繁に
「キャンペーン価格」として
ドメイン代を半額以下にすることがあります。

なので、そういったときに
今後、作りそうなブログのドメインは
買い溜めておくといいです。

※ドメイン代は通常、１年更新です。
つまり、１年につき 700 円～900 円が掛かります。

■レンタルサーバー

ドメインの購入というのは、
あくまでそのドメインの名前を買っただけですので、
それだけではWEBページやブログを運営することはできません。

購入したドメインを設置するためのサーバーが必要です。

とはいえ
個人レベルで自宅にサーバーを持っている人、というのは
今の時代、まずいないでしょうから
基本的にはレンタルサーバーで借りることになります。

ここではお勧めのレンタルサーバーを２つだけ
紹介します。

１．ロリポップ

http://lolipop.jp/

とにかく安く始めたいなら

GMO のロリポップがお勧めです。

ただし、安いだけあって質はそれなりです。

（つまり、重いということです）

ワードプレスのマルチドメインにも対応しています。

※ワードプレスについては後述

２．エックスサーバー

http://www.xserver.ne.jp/

逆に、少しだけ高くついてもいいから

しっかり安定したサーバーで

ブログを運用したい、という場合は

アフィリエイターに人気のエックスサーバーをお勧めします。

■ワードプレス（WordPress）

ここでは、これまでにも何度か言葉だけでてきた
ワードプレス（WordPress）について説明します。

WordPress とは、早い話が
ドメイン取得＋レンタルサーバー
で作ったページを「ブログ」にするための
補助ソフトだと思ってください。

通常、WEB ページというのは、
HTML、CSS、Javascript や PHP などで書かれていますが、
全く知識のない人がそれをゴリゴリと記述して
サイトを作るのは不可能です。

なので、ワードプレスを
レンタルしたサーバーにインストールすれば、
無料ブログと同じ感覚で
独自ドメインのサイトが構築できる、というわけです。

■Wordpress ページ

http://ja.wordpress.org/

こちらの「Wordpress」は無料です。

シェアで NO 1 になるほど

世界各国で使われており、

最近では 1 クリックでサーバーにインストール（設置）できるくらい

手順も簡単です。

■中古ドメインブログ

今までは「新規ドメイン」についてお話してきましたが、
次は「新規ドメイン」と対比した
「中古ドメイン」というものを紹介します。

中古ドメインブログとは、
過去に誰かのサイトとして使われていたドメインが
期限切れになったりしたものを
買収して、そのまま利用する形態のブログです。

取得方法については
少し難易度が高いのでここでは記述しませんが、
調べればすぐにわかりますので、
興味があれば調べてみてください。

■中古ドメインのオークションサイト
http://www.topshelfequestrian.com/

■期限切れドメインのチェックサイト
http://www.123domain.jp/?a_aid=1562271b

■中古ドメインのメリット

中古ドメインブログの特徴としては、

・最初から被リンクがついている
・最初からページランクがついている
・インデックスされやすい
・短期間で上位表示されやすい

といったメリットがあります。

※もちろん、これらの価値がついた質の良い中古ドメインを
購入すれば、という話です。

なので中古ドメインは、基本的にメリットが多く
「ブログは中古ドメインでしか作らない」
というアフィリエイターも結構いたりします。

一方で、デメリットは
新規ドメインに比べて、かなり高額なことです。

新規ドメインは基本的に１つ1000円もしませんが、
中古ブログでそれなりの品質・ランクのものを購入すると、
必ず数万円はしてしまいます。

また、元々誰かが所有していたドメインであるため、
過去にどんなサイトとして使われていたかが
わからない、というデメリットがあります。

※ただし、これを事前に調べることはできます。

もし過去にこの中古ドメインサイトが
グーグルや検索エンジンからペナルティを受けていたり
評価の低いサイトであったりすると
そのドメインを使って記事をいくら更新しても
全然、順位も上がらない、インデックスもされない、ということになり
高い資金が無駄になってしまう、ということもありえます。

■中古ドメイン取得時の注意

これらの説明を聞いて、
もし中古ドメインの購入を検討しているようであれば、
以下の点に注意してください。

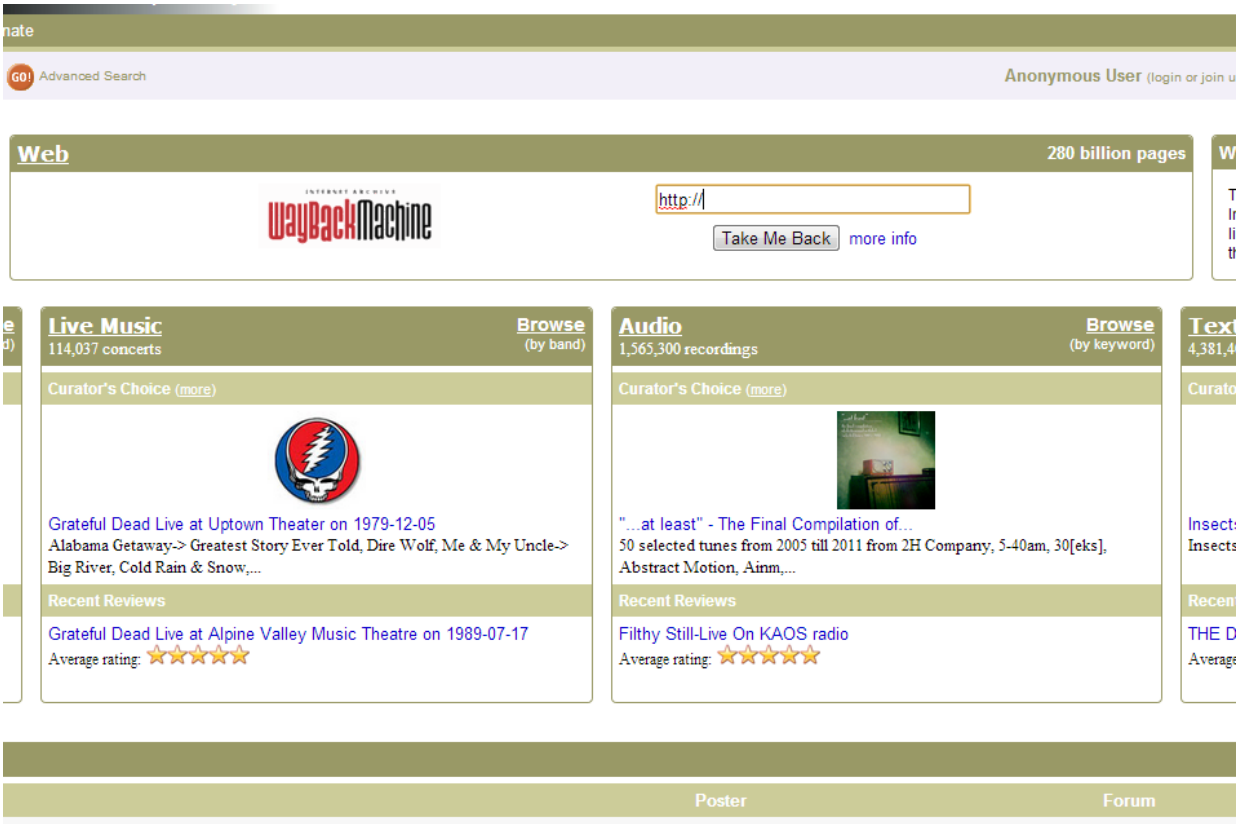
１．中古ドメインの購入前に、
過去にどんなサイトだったか、を必ず自分で調べること

特に、元アダルトサイト、ギャンブルサイト、
アフィリエイトサイト（スパム系）だった場合は
グーグルに嫌われている可能性がありますので、
購入は絶対 NG です。

サイトの運営履歴（以前どんなサイトだったか等）を
確認できる WEB サイトのツールがありますので、
ここでは併せて紹介しておきます。

「インターネットアーカイブ」

http://archive.org/index.php



・インターネットアーカイブ

http://archive.org/index.php

■インターネットアーカイブの使い方

サイトにアクセスしたら“WayBackMachine”のURL入力欄に、
オールドドメインを入力します。

過去に遡及して、コンテンツの品質をチェックしましょう。
また、サイト閉鎖から3、4年経過しているような場合は
避けた方が無難でしょう。

■ブラックリストチェック

また、過去にそのドメインがブラックリストに入っていないかを
チェックしておきましょう。
これも簡単にチェックは可能です。

100%完全ではないですが、該当している場合、
高い確率でヒットします。

■ブラックリストのチェックサイト
http://www.rbl.jp/checkuri.php

オールドドメインは、有効に活用すれば
ものすごいメリットの大きいドメインです。

ただし、その活用にあたっては、
自己責任とリスクヘッジが必要です。

■中古ドメインの賢い使い方

ここで紹介するのは
少し上級者向けのテクニックです。

前の章では、
「被リンク」を自分で作ることで
検索順位が上がる、ということをご説明しました。

また、被リンク元となる（リンクを送る側の）サイトの
ランク・価値が高いほど、
被リンクの効果も高い、ということも説明しました。

そこで、一部のアフィリエイターがやっているのが

「メインブログは新規ドメインで作り、
被リンク用に中古ドメインブログを購入して
リンクを送る」

という方法です。

これだと、リスク分散にもなります。
ただし、少し資金がかかりますので
ある程度、稼げるようになってきてからお勧めの SEO 施策です。

＜＜中古ドメイン購入時の注意　（追記）　＞＞

中古ドメインを、販売業者から購入する場合は、
ページランクだけを見て高いものを購入する
といった買い方は止めましょう。

業者のなかには、高く売るために
一時的にページランク７、８のサイトから大量に被リンクをつけて
商品（中古ドメイン）のページランクを意図的に吊り上げ、
売れた瞬間、リンクをはずす、

ということをしているところもあります。

必ず購入前に前章までで紹介した
「Open Site Explorer」で、
どんな被リンクがついているかをチェックしておくように
してください。

＜まとめ＞

ここまでで、無料ブログ、新規ドメインブログ、
中古ドメインブログについては一通り説明しましたが、
現状ではこれらのメリット・デメリットを踏まえ、
長期的に考えた場合に

「日本語ドメイン＋独自ドメイン」

が今は有利だといえるでしょう。

※グーグルは今後、
「中古ドメインについては評価しない」
という趣旨のことも言っていたりしますので、
そのあたりの動向には注意が必要です。

３．被リンクサイトの信頼性

少し復習のような話にもなりますが、
自分のサイトに被リンクを送ってくれるサイトの信頼性が、
自分のサイトの評価に影響します。

例えば、被リンクサイトが検索エンジンから
ペナルティを受けているサイトであったりすると、
自分のサイトに少なからず影響を及ぼすことがあります。

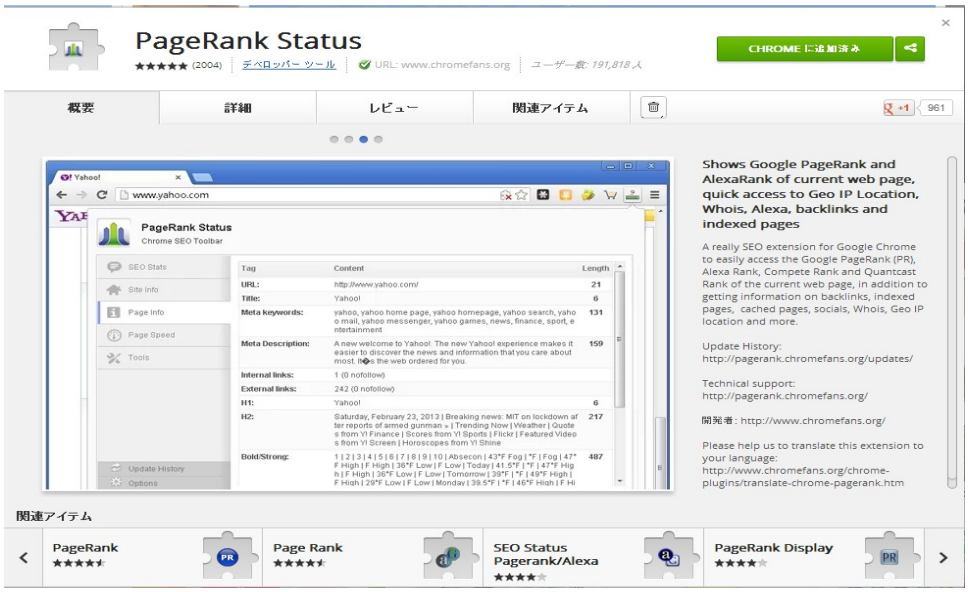
■SEO 効果の高い被リンクの条件

・ページランクが高いサイトからの被リンク

ページランクとは、Google が定めたウェブページの重要度を示す尺度です。

ページランクは、GoogleChrome にページランクを表示するプラグイン「PageRank Status」があり、それを使って調べることができます。

■PageRank Status



被リンク元のサイトのページランクが高いほど、
その被リンクの SEO 効果は高いです。

実際にはページランクが４または５以上のサイトからの
被リンクにはかなりの効果があるとされています。

■サイトテーマにあった被リンク

自分のサイトと同じテーマのサイトから送られる被リンクは
SEO 効果が高いとされています。

■社会的に信頼のあるサイトからの被リンク

政府や教育機関などのように、社会的に信頼のあるサイトからの
被リンクは SEO 効果が高いとされています。

※海外の大学などには、昔、結構相互リンクを募集していたサイトや
中古ドメインで運よくそういったところから
被リンクがついているものが売られていたりします。

※また Yahoo カテゴリーに登録されているブログなども
かなり価値が高く、
そういったサイトから被リンクを貰うと SEO 上、
かなり効果的です。

５．IP 分散サーバ

同一 IP アドレスのサーバーで複数の被リンクサイトを使って
順位を上げたい Web サイトへ被リンクを送っている場合、
検索エンジンに不自然だと判定される場合があります。

同じサーバーを使って、自作自演で検索順位の操作が出来てしまう
といったところにも、検索エンジン着目しているのです。

ですが、個人レベルで IP 分散をおこないたい場合は、
サーバーをいくつも借りるのはお金が掛かって大変です。

ロリポップなどは A クラスから IP が異なるドメインが
複数取れたりするので、お勧めです。

ただし、IP 分散については
あまり意味が無いとする意見もあります。

あくまでも検索エンジンにおける
検索順位評価アルゴリズムの一部でしかないため、
必要以上に気にする必要はありません。

６．海外ソーシャルブックマークサイトの存在

ソーシャルブックマークについて前述で説明しましたが、ソーシャルブックマークサイトは日本のものだけではありません。

海外にも多数のソーシャルブックマークサイトが存在し、
海外のブックマークサイトのなかには「No Follow タグ」が
ついていないものもあるため、
最近では日本のソーシャルブックマークサイトよりも
SEO 効果が高いとも言われています。

■海外ブックマークサイトの一例

【digg】

http://digg.com/

【Yahoo.com】

http://www.yahoo.com/

【stumbleupon】

http://www.stumbleupon.com/

【delicious】

https://delicious.com/

７．効率的なソーシャルブックマーク登録方法

弊社ソフト「ブックマークキング」を使うと、
ソーシャルブックマークの登録作業を効率的に行なうことができます。

【ブックマークキングの機能】

・ソーシャルブックマークアカウントの自動取得
・同一ドメインのページの一括ブックマーク登録
・複数のブックマークアカウントによるランダムブックマーク登録
・ブックマーク登録開始時間や登録間隔を設定したスケジュール登録

このように、ブックマークキングは
ソーシャルブックマークのアカウントの自動取得から、
ブックマーク登録までを自動で行なうことができるソフトなので、
作業を効率化し、時間を短縮できます。

８．被リンクの獲得方法

■相互リンクの重要性

相互リンクとは、２つの WEB サイト間で
お互いに合意のもとで、リンクし合う状態のことです。

自分からもリンクを貼る必要がある一方で、
相手からもリンクをもらうわけですから、被リンク効果があります。

相互リンクは、昔も今も SEO 対策の王道・鉄板です。
本当に昔は、この相互リンクだけをひたすらやっていれば
SEO 対策は OK だった時代もあったほどで、
今でも代わらずかなり効力のある方法です。

できれば、ブログには必ず『相互リンク募集ページ』を作成して、
相互リンクを広く募集、申請することをオススメします。

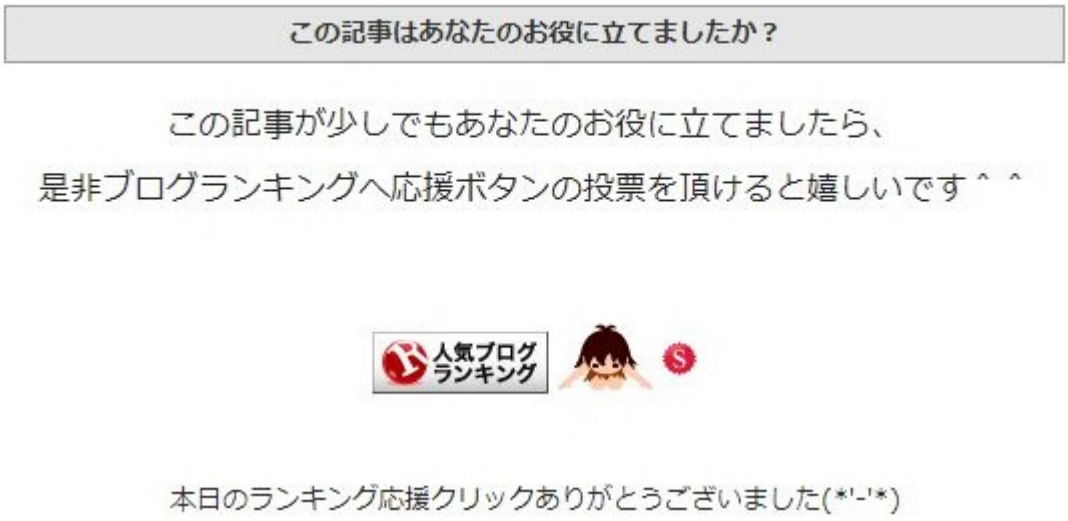
特に、ここではサイトのテーマに関わらず
広く相互リンク先を募集して構いません。

■相互リンクサイト

http://linkmost.com/

■ブログランキングへの登録

ブログランキングとは、どこかが運営しているランキングサイトに
自分のブログを登録して、
自分のブログにランキングボタンを設置することで、
そのボタンのクリック数に応じて
ランキングサイト側で上位に表示される、という仕組みのものです。



皆さんも
誰かのブログで一度は、
こういった表記を見たことがあると思います。

これは、
このボタンがクリックされることで
その人のブログが、
「ランキングサイト」で上位に表示される仕組みになっています。

ブログランキングで 100 位以内などの上位に入ると
ブログランキングサイトのトップページから
被リンクが入ることになりますから、
SEO 上、とてつもなく大きな効果があります。

また、
「○○のブログランキングで 1 位になりました」
というようなアピールもできるので、

少し SEO 対策とは違いますが、
ブログの「ブランディング」にも効果的です。

■有名なブログランキングサイト

有名なブログランキングサイトには
以下のようなものがあります。

１．FC２ブログランキング
http://blogranking.fc2.com/

2．人気ブログランキング

http://blog.with2.net/

＜まとめ＞

ブログランキングに登録することで
ブログランキングから被リンクが貰え、
かつランキングがあがってくれば、
そこからのアクセスも期待できるので、
最低１つは登録しておきましょう。

特に登録数に制限はありませんが、
その代わり、こちらからもブログランキングにリンクを貼る
必要がありますので、
先ほどのリンクジュースを無駄にしない意味でも、
１～２つで十分です。

■コメント回り

少し泥臭い手法ではありますが、
自分のブログの URL 付きで、
ランクの高いサイトやブログにコメントして回る、というのも
被リンク獲得の意味では効果があります。

自分のサイトと関連あるテーマで、
ページランクや順位が高い関連サイトに
挨拶や、記事に対する感想・コメントを書き込み、
そこに URL を入れておけば、
そのサイトから被リンクが貰えるのと同じことになります。

また、その相手のブログをたまたま見に来ている人が、
自分のコメントにあるリンクを見て、
直接、アクセスしてくれることも結構あるので
試してみる価値はあります。

ただし、コメント回りで
あまりに膨大な時間を浪費していては本末転倒ですので、
そのあたりの優先順位は考えていく必要があります。

９．PING 送信

PING 送信とは、
ブログの「記事のタイトル」「概要」「URL」などの
更新情報を各 Ping サーバーに送信し更新したことを
通知することです。

PING 送信をすることで、
クローラーを集めることができるため、
インデックス対策になります。

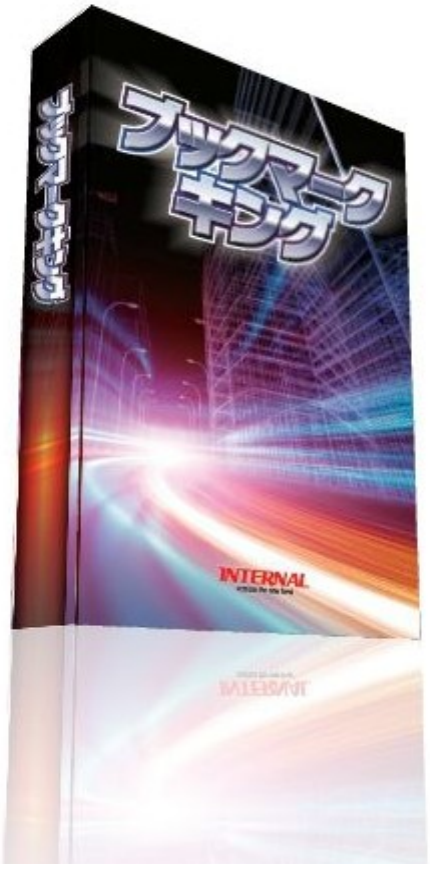
新しい記事を投稿した際など、
記事がインデックスされてないときに
PING を送信することをオススメします。

弊社関連商品のご紹介

最後に、弊社商品の中で SEO 対策に関連する商品をご紹介しておきます。

【ブックマークキング】

ブックマークキングは SEO 効果があると言われているソーシャルブックマークについて、アカウント取得とブックマーク登録を自動で行なうことができるツールです。



■ブックマークキングの商品ページ

http://www.internal.co.jp/products/marketing/bookmarkking/about/

【翻訳ブログビルダー】

翻訳ブログビルダーは海外ブログを翻訳した記事を投稿することができるツールで、翻訳記事にリンクを挿入できるので、被リンクサイトへの記事投稿にも応用することができます。

【2ch まとめビルダー 2】

2ch まとめビルダー 2 は 2ch まとめサイトによるアフィリエイト用のツールで、2ch まとめサイトの立ち上げから日々の記事更新、サイト順位対策などを総合的にサポートします。

■2ch まとめビルダー 2 の商品ページ
http://www.internal.co.jp/products/marketing/2chmatome/about/

＜最後に＞

以上で、SEO 対策に関するマニュアルは
終了になります。

いかがでしたでしょうか。

特に「SEO 初心者」にとっては、
かなりのボリュームの知識量を全て書き込んだため、
いっぺんに覚えられなかったかもしれません。

そういった場合は、
何度も本マニュアルを読み返しながら、
少しずつ実践していただければ、
必ず、すぐに慣れるようになります。

これは非常に重要なことですが、
冒頭でもお話しましたように

「SEO 対策に正解はありません」

ネットで少し調べれば、
色んな人が色んなことを言っていると思います。

このマニュアルでも
色んなことを言いました。

ただし、絶対にこれが正解だ、というものはありません。

結果として順位が上がったら
それこそが唯一の正解なわけです。

なので、
なるべく
・この方法は効果がある
・この方法は効果がない
という「決め付け」をなくして、
色んな方法にチャレンジしてみるとが重要です。

それが結果として、
リスク分散になります。

＜SEO を学ぶ上での注意点＞

SEO 対策の情報などをネットで調べる際には、

「それがいつ発信された情報なのか」

を絶対に確認するようにしてください。

特に SEO 対策に関しては、
２年前、３年前の情報というのは
基本的に全く意味がありません。

ところが、グーグルの検索結果というのは
「新着順」ではありませんので、
古い、あてにならない情報が上位表示されてしまってることは
よくあります。

そういった情報に惑わされないためにも
必ず「いつの情報か」
は確認する癖をつけましょう。

また、SEO の正解というのは、
その時代、時代でも全く違います。

本篇でも少し触れましたが

ある時期は外部リンクさえ大量に貼っていれば上がったり、
ある時期は無料ブログが上がり安かったり、
ある時期は中古ドメインがやたらと強かったり、
ある時期はソーシャルブックマークが絶大な威力があったり・・

今であれば
「日本語ドメイン」が強い、というのは
お話したとおりです。

ですが、それが未来永劫
そうであるとは限りません。

なので、必ず色んな手法を試しながら
「リスク分散」をおこないましょう。

全て同じ SEO 対策しかしていないと、
その方法が使えなくなったときに、
いきなりサイトが圏外に飛んだり、
アフィリエイト収入が 0 になったりしかねません。

それでは、
「完全 SEO 対策マニュアル」は以上です。

ここまでお読みいただき
ありがとうございました。